

「なぜなぜ分析」はもういらない！ 要因は101、対策は54、ツールは10 「不良ゼロ」への具体的なアプローチ

今まで悩まされていた「慢性不良」を短期間で確実に「ゼロ」にできる新手法

従来の手法に限界を感じている方、不良はゼロにならないとあきらめている方、

「なぜなぜ分析」がうまくいかないと悩んでいる方、改善活動が継続できないと悩んでいる方にお勧めのセミナーです

日時 2024年6月27日(木) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 48,400円 (資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

6/27 不良ゼロ

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247537

開催主旨

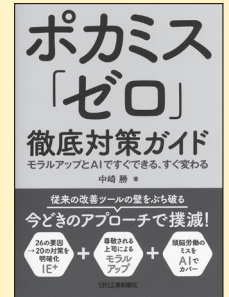
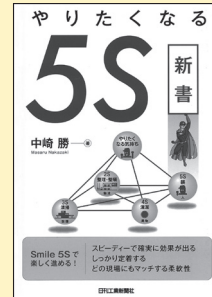
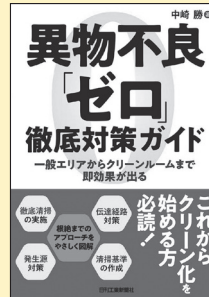
不良がゼロにならないのは、原因（要因）と対策がわからないからです。不良の要因は101、対策を54です。これらを知ることにより「なぜなぜ分析」要らなくなります。

また、不良の発生要素である異物、設備、作業に対し、「現物分析→データ分析→工程限定→原因限定→メカニズムの解明→根本対策→継続のための効率化→要素管理」という一連の解決手順をパッケージ化した10のツールを紹介しします。

10のツールにより、不良改善が確実にスピーディーにでき、原因のわからない不良もゼロにすることができ、各ステップをたどることにより、論理的思考も身に付きま

す。更に、改善活動が継続できない、現場のモラルが低いと悩んでいる方のためにモラルアップ9つの施策、尊敬される上司の8原則を紹介しします。

本アプローチは、31年間のコンサルティングの経験則によって生み出されたものであり、現在も実際のコンサルティングで使い、磨き続けているものです。本セミナーを受け、不良ゼロの醍醐味をぜひ味わって下さい。



ご希望のいずれか1冊を進呈！ 書籍詳細は

- ・ポカミス「ゼロ」徹底対策ガイド URL⇒<https://pub.nikkan.co.jp/book/b10021450.html>
- ・やりたくなる5S新書 URL⇒<https://pub.nikkan.co.jp/book/b10021196.html>
- ・異物不良「ゼロ」徹底対策ガイド URL⇒<https://pub.nikkan.co.jp/book/b10021629.html>

講師

株式会社ロンド・アプリウェアサービス **大谷 みさお 氏**

【略歴】 日立東京エレクトロニクスに入社し、半導体製造部門に配属。1998年、ロンド・アプリウェアサービスに入社。組立・プロセス産業の現場でコンサルティング業務にあたり、23社で成果を上げる。最近では、従来の改善の限界を打開するひとつの方法として、ものづくり現場でIoT・AIの活用を実践。IoT・AI素人だからこそ、やってわかったポイントの現場展開に取り組む。現場作業者と一体になって取り組む“現場実践型”のコンサルティングを信条とする。

プログラム

1. 不良ゼロの9原則

- ・原則-1：不良は結果
- ・原則-2：不良の要因は101
- ・原則-3：対策は54
- ・原則-4：10のツール
- ・原則-5：要素別改善
- ・原則-6：データ分析
- ・原則-7：発生工程の見つけ方
- ・原則-8：現物・現場
- ・原則-9：現象の連鎖
- ・「なぜなぜ分析」はもういらぬ
- ・不良ゼロへのアプローチ

2. 異物ゼロへのアプローチ

- ・異物は感性
- ・異物不良発生メカニズム
- ・1ステップ：現物分析
- ・2ステップ：工程限定
- ・3ステップ：徹底清掃
- ・4ステップ：メカニズムの解明
- ・5ステップ：異物対策
- ・6ステップ：清掃基準書の作成
- ・7ステップ：異物管理

3. ポカミスゼロへのアプローチ

- ・ポカミスは結果
- ・脳の機能
- ・集中カマネジメント

- ・ポカミスの要因
- ・ポカミスの対策
- ・知らなかった対策
ポカミス教育、NG/OKシート、報告書の改訂
- ・標準整備
標準の実態、標準を整備する、教育・訓練のしくみづくり
- ・うっかり対策
自主休憩、体調管理、都合管理、環境改善、始業前点検
- ・判断ミス対策
判断ミス対策、検査作業改善
- ・共にゼロを目指す

4. キズゼロへのアプローチ

- ・キズは結果
- ・個別対策と総合対策

5. モラルアップへのアプローチ

- ・モラルとは、モラルの実態、モラルアップの9原則
- ・モラルマネジメント：モラルアップ9つの施策
 - ① やって見せる
 - ② やる意味を教える
 - ③ 適切な目標を与える
 - ④ 適時アドバイスする
 - ⑤ 成功させる
 - ⑥ ほめる
 - ⑦ 一緒に考える
 - ⑧ ワークショップ
 - ⑨ 毅然とした態度で接する
- ・尊敬される上司になる
 - ① 尊敬される上司の8原則
 - ② 嫌われる上司
- ・人は環境の生き物